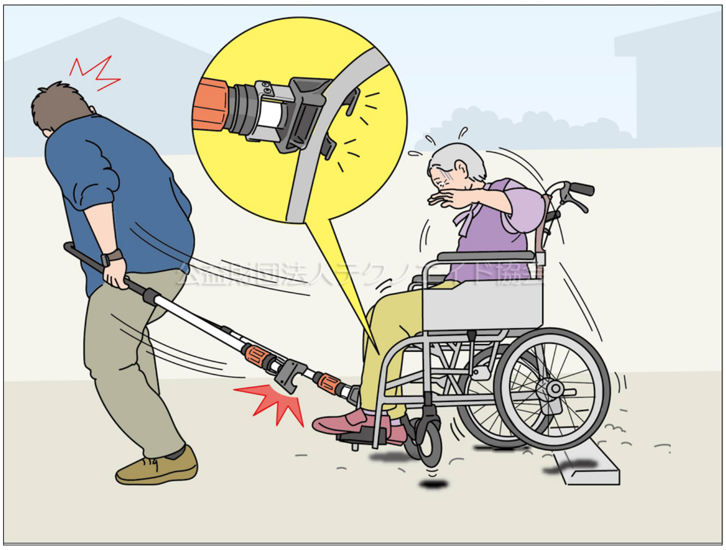
Case：405

走行中車いすけん引装置が外れ、バランスを崩し転倒しそうになる

場面の説明

車いすとの接続固定が不十分だったため段差の振動で片方が外れ、バランスを崩した



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	車いす付属品
分類コード (CCTA95)	122489 (その他の車いす用品)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

車いすけん引装置は、不整地や段差部の通過等の際に効果を発揮する用具で、非常時の避難器具としても活用されています。車いすとの接続固定部分には強い力がかかるので、確実な装着とねじの締め込みが求められます。万一装着が不十分でも外れにくい構造になっていますが、そのまま使い続けると接続部分が変形するなどして、振動などで外れてしまうこともあり危険です。変形がないかなど日ごろからの点検も重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：適切な固定方法を理解していなかった
人：部品の変形に気づいてもけん引できるので大丈夫だと思っていた
モノ：不十分な接続でもけん引できる構造だった
モノ：不適切な装着で部品に変形が生じていた
管理：不十分な装着がなされていることを把握できていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.